2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月11日

上 場 会 社 名	株式会社ルックホールディングス	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	8029	URL	https://www.look-holdings.jp/
代　　表　　者	（役職名） 代表取締役社長	（氏名）	澁谷　治男
問合せ先責任者	（役職名） 常務取締役	（氏名）	斉藤　正明　　(TEL) 03-6439-1701
配当支払開始予定日	―		

決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	34,767	△4.8	1,007	29.0	1,197	18.7	815	31.2
2025年12月期第３四半期	36,525	△7.6	781	△44.8	1,009	△39.5	621	△37.1

(注) 包括利益 2026年12月期第３四半期　2,798百万円(150.8%)　2025年12月期第３四半期　1,115百万円(△51.5%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	108.61	―
2025年12月期第３四半期	83.36	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	66,344	42,566	64.2
2025年12月期	64,042	40,456	63.2

(参考) 自己資本 2026年12月期第３四半期　42,566百万円　　2025年12月期　40,456百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	0.00	―	100.00	100.00
2026年12月期	―	0.00	―		
2026年12月期(予想)				100.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	△9.8	1,900	8.0	2,200	5.5	1,600	8.5	213.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細につきましては、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご参照ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　有

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（注）詳細につきましては、添付資料８ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更に関する注記）」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	7,818,713株	2025年12月期	7,796,313株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	290,836株	2025年12月期	312,799株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	7,504,799株	2025年12月期３Ｑ	7,452,915株

（注）当社は「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」及び「従業員向け株式給付信託（J-ESOP）」を導入しており、期末自己株式数には当該信託に残存する自社の株式を含めております。また、当該信託に残存する自社の株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。業績予想に関しましては、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況　(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（会計方針の変更に関する注記） …… 8
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当第３四半期連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策により緩やかな回復基調で推移いたしました。名目賃金の伸びが拡大し、実質賃金も持ち直しの動きが見られた一方で、中東情勢の緊迫化や為替相場の変動、資源価格の高止まり等、景気を下押しするリスクは依然として払拭されておらず、先行き不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、恒常的な物価上昇を背景に消費者の節約志向が継続したほか、猛暑や長雨など天候不順の影響により季節商品の立ち上がりが遅れた一方で、9月にかけては気温の低下に伴い、秋冬物の需要が高まったことから、総じて横ばい基調で推移しました。

このような状況の中、当社グループは、2028年を最終年度とする中期経営計画の基本政策に掲げる「収益基盤の更なる拡大」、「資本政策の充実化」、「ESG戦略の強化」に取り組み、安定した事業基盤の構築として、主力ブランドの新規出店やポップアップ・イベントの開催、コラボレーション施策等、ブランド価値向上を目的とした施策を実施してまいりました。

その結果、当社グループの当第３四半期連結累計期間の売上高は、347億６千７百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は10億７百万円(前年同期比29.0%増)、経常利益は11億９千７百万円(前年同期比18.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は８億１千５百万円(前年同期比31.2%増)となりました。

セグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

(アパレル関連事業)

「日本」につきましては、円安基調の継続により仕入価格が上昇する中、ブランド価値向上の施策に注力している主力インポートブランドが引き続き売上を押し上げたことで、総じて堅調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、新作のバッグシリーズを中心に堅調に推移したことに加え、ブランド創立75周年を記念した限定アイテムを販売するイベントを開催したことなどから売上高が拡大いたしました。「イル ビゾンテ」においては、定番の折り財布やキーホルダー等のスモールレザーグッズの販売が好調に推移した一方、新作アイテムは伸び悩みました。「A.P.C.」においては、話題性のあるコラボレーション施策を実施する等、ブランド価値向上に取り組みました。その結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は187億７千６百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は10億８千５百万円(前年同期比0.7%増)となりました。

「韓国」につきましては、半導体需要の拡大を背景とした輸出の増加や、民間消費の持ち直しにより景気は回復基調で推移いたしました。一方で、韓国株式市場の落ち込みや中東情勢等、消費マインドを下押しするリスクが残っており、先行き不透明な状況が続いております。株式会社アイディールック、株式会社アイディージョイにおきましては、ウォン安基調の継続で仕入価格が上昇傾向にある中、訪韓外国人観光客の増加を背景に商業施設におけるインバウンド売上が好調に推移したことに加え、高気温が続いたことで夏物衣料の販売が順調に推移いたしました。また、9月にかけては気温の低下に伴い秋物商品の販売が堅調に推移いたしました。２月に契約が終了したブランドの影響により、当第３四半期連結累計期間の売上高は143億８千２百万円(前年同期比17.5%減)となりましたが、１～２月に実施した最終セールが期初計画より大きく伸長したことなどにより、営業利益は５億４千３百万円(前年同期比52.2%増)となりました。

「欧州」につきましては、イタリアの直営店舗の売上が、欧米観光客の増加により順調に推移したことに加えて、主力の卸売事業において日本の受注額が増加する等順調に推移した結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は29億９千２百万円(前年同期比23.7%増)、営業利益は１億９千２百万円(前年同期は２億６千５百万円の営業損失)となりました。

「その他海外」（米国）につきましては、米国において、「イル ビゾンテ」の小売事業は堅調に推移したものの、卸売事業が米国の通商政策の影響もあり前年を下回った結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は３億７百万円(前年同期比3.5%減)、営業損失は７百万円(前年同期は４千４百万円の営業損失)となりました。

これらの結果、アパレル関連事業の当第３四半期連結累計期間の売上高は364億５千８百万円(前年同期比3.7%減)、営業利益は18億１千３百万円(前年同期比61.2%増)となりました。

(生産及びOEM事業)

「生産及びOEM事業」につきましては、株式会社ルックモードにおいて、グループ内外への売上高が増加した結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は16億３千４百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は３千７百万円(前年同期比81.4%増)となりました。

（物流事業）

「物流事業」につきましては、株式会社エル・ロジスティクスにおいて、グループ内への売上高が増加した結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は９億５千３百万円(前年同期比1.5％増)、営業利益は４千５百万円(前年同期比5.7％減)となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が15億５千２百万円、マーケティング関連資産が８億２百万円、それぞれ減少しましたが、現金及び預金が28億３百万円、投資有価証券が21億２千８百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ23億１百万円増加し、663億４千４百万円となりました。

負債は、未払費用が５億９千万円、借入金が４億９千３百万円、それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金、電子記録債務が13億１千９百万円、繰延税金負債が３億８千万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ１億９千１百万円増加し、237億７千７百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金が12億４千６百万円、為替換算調整勘定が６億９百万円、それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ21億１千万円増加し、425億６千６百万円となりました。

これらの結果、自己資本比率は、64.2％となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期の連結業績予想につきましては、2026年８月３日に公表いたしました業績予想から変更はありません。なお、本日公表の「特別利益（投資有価証券売却益）の計上に関するお知らせ」につきましては、織り込み済みであります。

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,690	11,494
受取手形及び売掛金	5,697	4,144
商品及び製品	14,023	14,070
仕掛品	1,128	728
原材料及び貯蔵品	505	525
その他	747	669
貸倒引当金	△51	△39
流動資産合計	30,740	31,592
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,209	2,270
土地	615	645
その他（純額）	953	961
有形固定資産合計	3,778	3,877
無形固定資産		
マーケティング関連資産	12,687	11,884
のれん	3,860	3,514
その他	693	493
無形固定資産合計	17,240	15,892
投資その他の資産		
投資有価証券	6,119	8,247
退職給付に係る資産	1,972	2,273
繰延税金資産	1,673	1,753
敷金	2,173	2,368
その他	455	451
貸倒引当金	△131	△127
投資その他の資産合計	12,262	14,967
固定資産合計	33,282	34,737
繰延資産		
社債発行費	19	14
繰延資産合計	19	14
資産合計	64,042	66,344

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,580	2,435
電子記録債務	510	974
短期借入金	644	374
1年内返済予定の長期借入金	1,460	1,599
未払金	182	144
未払費用	2,204	1,613
未払法人税等	781	247
未払消費税等	222	33
賞与引当金	168	290
ポイント引当金	8	15
資産除去債務	32	315
その他	388	412
流動負債合計	8,185	8,455
固定負債		
社債	1,500	1,500
長期借入金	7,206	6,843
繰延税金負債	5,250	5,631
退職給付に係る負債	355	403
役員退職慰労引当金	－	15
株式給付引当金	92	108
資産除去債務	261	160
その他	734	659
固定負債合計	15,400	15,321
負債合計	23,586	23,777
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,476	6,505
資本剰余金	1,746	1,775
利益剰余金	23,336	23,372
自己株式	△573	△540
株主資本合計	30,985	31,113
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,641	3,888
繰延ヘッジ損益	1	△41
為替換算調整勘定	5,859	6,468
退職給付に係る調整累計額	968	1,138
その他の包括利益累計額合計	9,470	11,453
純資産合計	40,456	42,566
負債純資産合計	64,042	66,344

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	36,525	34,767
売上原価	14,428	13,590
売上総利益	22,097	21,177
販売費及び一般管理費	21,316	20,169
営業利益	781	1,007
営業外収益		
受取利息	46	133
受取配当金	110	119
権利金収入	107	－
その他	166	141
営業外収益合計	431	394
営業外費用		
支払利息	96	115
為替差損	57	25
固定資産除却損	8	17
その他	40	46
営業外費用合計	203	204
経常利益	1,009	1,197
特別利益		
資産除去債務戻入益	15	－
投資有価証券売却益	247	385
特別利益合計	262	385
特別損失		
減損損失	39	29
事業譲渡損	－	105
本社移転費用	－	12
ブランド撤退損失	25	4
その他	0	7
特別損失合計	64	160
税金等調整前四半期純利益	1,206	1,422
法人税等	585	607
四半期純利益	621	815
親会社株主に帰属する四半期純利益	621	815

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	621	815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17	1,246
繰延ヘッジ損益	△23	△43
為替換算調整勘定	454	609
退職給付に係る調整額	82	170
その他の包括利益合計	494	1,983
四半期包括利益	1,115	2,798
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,115	2,798

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

一部の海外子会社の税金費用について、従来、原則的な方法により計算しておりましたが、四半期決算業務の一層の効率化を図るため、当第３四半期連結会計期間より、連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

税金費用の計算

当社及び一部の連結子会社において、税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	アパレル関連事業					生産及びOEM事業	物流事業	合計	調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	日本	韓国	欧州	その他海外	計					
売上高										
外部顧客への売上高	17,649	17,340	725	318	36,035	412	77	36,525	－	36,525
セグメント間の内部売上高又は振替高	30	82	1,693	－	1,806	1,142	862	3,810	△3,810	－
計	17,680	17,423	2,418	318	37,841	1,555	939	40,336	△3,810	36,525
セグメント利益又は損失(△)	1,078	357	△265	△44	1,124	20	47	1,193	△412	781

（注）１．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△536百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,660百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,535百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

［関連情報］

地域ごとの情報

売上高

（単位：百万円）

日本	韓国	欧州	米国	東南アジア	合計
18,140	17,340	725	299	19	36,525

（注）欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

東南アジアに属する主な国または地域：シンガポール

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	アパレル関連事業					生産及びOEM事業	物流事業	合計	調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	日本	韓国	欧州	その他海外	計					
売上高										
外部顧客への売上高	18,739	14,307	903	307	34,257	439	70	34,767	－	34,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	36	75	2,088	－	2,201	1,194	883	4,279	△4,279	－
計	18,776	14,382	2,992	307	36,458	1,634	953	39,046	△4,279	34,767
セグメント利益又は損失(△)	1,085	543	192	△7	1,813	37	45	1,895	△888	1,007

(注) １．セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、マーケティング関連資産及びのれんの償却額△597 百万円、セグメント間の取引に関わる調整額1,431百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,721百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない持株会社に係る費用であります。

２．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

［関連情報］

地域ごとの情報

売上高

(単位：百万円)

日本	韓国	欧州	米国	合計
19,249	14,307	903	307	34,767

(注) 欧州に属する主な国または地域：イタリア、フランス

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 (自　2025年１月１日 至　2025年９月30日)	当第３四半期連結累計期間 (自　2026年１月１日 至　2026年９月30日)
減価償却費	1,266百万円	1,279百万円
のれんの償却額	201	258